

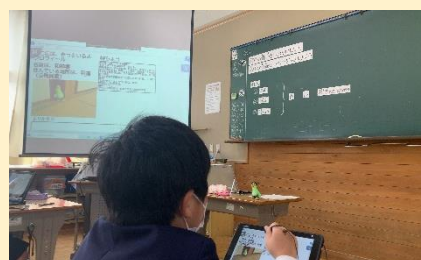
1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	久米南町立誕生寺小学校	実践者名	筆保 知彦
教科	図画工作科	学年	第4学年
活用内容	撮影 意見交流	実践日	令和3年10月29日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	<p>「ここには、きっといるよ」 粘土で作った作品を校内の「お気に入りの場所」に置き、タブレット端末で撮影した画像を友達に紹介する。友達の作品や発表から、場所の雰囲気や作品の面白さを感じとることができるようにする。</p>		

活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）

【前時まで】

- ・学校内でお気に入りの場所を見つけ、そこにどんな「住人」が住んでいるかをイメージし、紙粘土や絵具を使って作品作りを行う。
- ・作品をお気に入りの場所に置き、場所や角度を工夫しながらタブレット端末で撮影し、ジャストスマイル*で作品の説明を所定のワークシートに記入しておく。



【本時の活動】

- (1) 前時を振り返り本時のめあてをつかむ。

自分の作品をしょうかいしたり、友達の作品のよいところを伝えたりしよう。



- (2) 作品の鑑賞をする。

- ・個々の撮影した作品画像を教室前面の大型スクリーンに写し出し、特徴や見どころを発表させる。
- ・発表を聞いた児童は、発表者のワークシート（ジャストスマイルで共有済）に、感想を付せん機能で記入する。
- ・「住人」の色や形、場所との関連性など、鑑賞の視点を与えることで「付箋」に感想を書きやすくする。



- (3) 本時のまとめと振り返りを行う。

- ・単元を通して思ったことや感じたこと等を入力させる。

授業支援ソフトの「付せん機能」で、互いの作品の感想を記入することで、短時間で効率よく交流ができた。また、作品の画像を大型スクリーンに写し出すことで、作品の細部まで観察を行うことができ、作品の新たな価値や面白さに気付くことができた。（指導主事より）

実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
<p>作品を撮影した写真の加工ができたり、ソフトを使うと同じ画面の共有が簡単にできたりした。また、作成したものをデータとして残すことで、評価するときにも活用でき、便利だと感じた。</p>	<p>（児童から） 「友達が、自分の作品について、タブレットでコメントを書いてくれてうれしかった。自分も気づかなかった作品の良さを教えてくれた。友達の作品を見るのも便利だった。」</p>

* ジャストスマイル…小学校向け授業支援ソフト (<https://www.justsystems.com/jp/products/justsmile/>)